



JQA-3208

- デジタル時代の表面処理総合技術カンパニー -



2009年11月号

NO - 51

株式会社 ヒキフネ
東京都葛飾区東四つ木2-4-12



環境品質のヒキフネ

- ご挨拶 -

早いもので、今年もあと1ヶ月半を残すまでになりました。

景気の回復感もまだまだといった感じで、クリスマスや年末を迎えるにあたって何となく盛り上げに欠けるような印象です。しかし、確実に日は流れ我々を取り巻く環境は変化しています。この変化に乗り遅れずアンテナを絶えず張っていなければと思います。

今回は前回ご報告いたしました「勇気ある経営大賞」の顕彰式の模様を写真でご紹介いたします。大勢の出席者を前に少し緊張しましたが無事表彰されてきました。



表彰会場写真



東京会議所副会頭とのショット

専務 石川英孝

ご意見のご協力をお願いします。

今回の『Hikifune Report』でのご意見、ご希望など何でも結構です。お願い申し上げます。

.....
.....
.....
.....
.....

この用紙にご記入頂きそのまま FAX をお願い申し上げます

FAX 03 - 3696 - 4511

裏に続くー

環境品質とは

R o H S、W E E Eに始まり、P F O S、R E A C Hとヨーロッパの化学物質規制により、製品はその製品が持つ性能や機能といった品質の良さだけではなく、その製品に何が使われているかも（含有物質）その製品の品質の一つになりつつあります。

現在、R o H S 6種類（追加9種類）R E A C H - S V H C（高懸念物質）15種類と管理すべき物質は将来的には1,500種類になるといわれています。これに対応すべく日本のメーカーも各社グリーン調達規格を設け、これに対応できない製品は購入しない方向になって来ています。

現在では、製品の環境を考えることは、製品品質の重要な要素と言えます。

ヒキフネの環境品質への取り組み

弊社は、めっき專業業者として、多くの有害物質を取り扱ってきました。しかし、そんなめっき專業業者だからこそ、環境に対する配慮に尽力を惜しみませんでした。

6価クロムめっき代替の3価クロムめっき（グレーカド、ダークカド）鉛レス無電解ニッケルめっき、ニッケルレス・ユリジウムめっき等の環境配慮型めっきの開発・導入を先駆けて行い。トリクレン等の有機溶剤による脱脂（汚れの除去）及び乾燥等の有害物質使用工程の廃止、処理ラインへ有害物質を入れないための購入品の評価選定、定期的に処理液・製品のI C P・X線測定による有害物質の管理を実施、また、これらがうまく機能するために有害物質に関する従業員教育を行い環境品質の管理を徹底してまいりました。

多くのお客様のご指導もあり、2007年にキヤノン株式会社様、ソニー株式会社様よりグリーン調達の認定を頂き、各社様のグリーン調達規格に対応した製品、管理体制をご提供してまいりました。

今後も「環境品質のヒキフネ」と呼ばれるように努力してまいりますので、ご期待下さい。



恐れ入りますが各関係部署の方への回覧をお願いいたします。

【連絡先】

第一工場営業部	： 笹島・石川	TEL : 03-3696-1981	FAX : 03-3696-4511
F P 部	： 国井・上田	TEL : 同上	FAX : 03-3696-1973
技術部	： 井坂	TEL : 同上	FAX : 03-3692-9178
ヒキフネ技研	： 目良・中山	TEL : 03-3695-5787	FAX : 03-3692-6152
HP アドレス	： http://www.hiki-fune.com		